

研究課題名	乳幼児急性細気管支炎の発症とネーザルハイフロー導入に関する入院経過について
実施責任者	所属・職名： 臨床工学部 臨床工学技士（技師長）
	氏名： 花隈 淳
研究の概要	RS ウイルス等による急性細気管支炎患者様には、呼吸補助装置として高流量酸素療法（ネーザルハイフロー）を実施する場合があります。ネーザルハイフローを実施してからの入院経過について調べ、その有効性と問題点について検討します。すでに電子カルテ内にあるデータをもとに調査したいと思います。
対象となる個人情報	① 生体情報（呼吸数、心拍数、体温、聴診、その他身体所見）②ネーザルハイフロー設定条件（酸素濃度、酸素流量、カニューレサイズ）③発症から装着までの日数、装着日数（期間）、入院日数（期間）④採血データ（PaO ₂ 、PaCO ₂ 白血球数、血小板等）
実施の期間	西暦 2013年 4月 1日より
	西暦 2022年 3月31日まで
研究対象	上記期間中に当院小児科にてネーザルハイフローを装着した患者様が対象となります。